

下鴨神社奉納

場所 下鴨神社 舞殿・橋殿
日時 令和4年5月4日(水) 午後1時

主催 下鴨神社
宮司 新木直人
共催 日本古武道振興会
会長 加藤 紘

下鴨神社奉納演武

舞 殿

橋 殿

参加流派 31 参加人数 139 名 (直会参加 117 名)

- | | | |
|---------------------|----|-----------------------|
| 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原 清忠) | 1 | |
| 貫心流劍術 (濱野 省三) | 2 | 鞍馬流劍術 (柴田 章雄) |
| 示現流兵法 (東郷 重賢) | 3 | 神夢想林崎流居合術 (鈴木ゆき子) |
| 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀) | 4 | 神道夢想流杖術 (濱地 光男) |
| 細川家伝統兵法二天一流 (宮田 和宏) | 5 | 澁川一流柔術 (森本 邦生) |
| 関口流拔刀術 (祖父江光紀) | 6 | 直心影流薙刀術 (荻原 晴子) |
| 立身流 (加藤 紘) | 7 | 双水執流小具足腰之廻組討 (宇佐美 裕司) |
| 浅山一傳流兵法 (関 展秀) | 8 | 神道無念流劍術 (小川 武) |
| 小野派一刀流劍術 (鈴木ゆき子) | 9 | 関口新心流柔術 (関口 芳夫) |
| 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一) | 10 | 竹内流捕手腰廻 (竹内 藤十郎) |
| 無雙神傳英信流拔刀兵法 (森本 邦生) | 11 | 心形刀流武芸形 (小林 強) |
| 夢想神伝居合重信流詰合 (津村 恵治) | 12 | 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平) |
| 天道流薙刀術 (木村 恭子) | 13 | 戸山流拔刀道 (中村 朋子) |
| 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞) | 14 | 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司) |
| 無想神傳流拔刀術 (小川 武) | 15 | 無限神刀流居合術 (平岡 祥淑) |
| 柳生制剛流拔刀 (柳生 耕一) | 16 | 神道夢想流杖術 (江角 和敏) |
- 16 流派 79 名
- 15 流派 60 名

令和 4 年 (2022) 5 月 4 日

下鴨神社 奉納演武順序

舞 殿

一、小笠原流弓馬術礼法 (小笠原長清)

小笠原清忠 (神奈川県)
小笠原清基
小笠原清正
松本大和
安達

二、貫心流劍術 (六戸司箭家俊)

濱野省三 (兵庫県)
谷口信彦
福浦清文
松本

三、示現流兵法 (東郷肥前守重位)

東郷重賢 (鹿児島県)
東郷重耕
白坂重一
有村博光
松村
藤村
徳永

四、夢想神伝流居合術（林崎甚助重信）

五、細川家伝統兵法二天一流（新免武蔵玄信）

塚本嘉平
デュルソ・アンリ
アレキサンダー・ブラッドショー
築地克秀

高橋次秀（東京都）

高橋次秀
阿部昭
平本博
毛利公叡
清水水利航
清水理恵
高橋蒼馬

宮田和宏（福岡県）

宮田和宏
吉村壮平
深谷俊文
長富昭長
メダハヤシ
篠田裕彦
河上

六、関口流抜刀術（関口八郎左衛門源實親）

七、立身流（立身三京）

八、浅山一傳流兵法（浅山一傳齋重晨）

九、小野派一刀流劍術（伊藤一刀齋景久）

祖父江光紀（茨城県）

徳井哲夫
大坂下井忠國
島佑斗

加藤紘（千葉県）

加藤裕介
加藤敦

関塚展秀（茨城県）

関田展秀
塚田佳壱
黒澤慧禎
倉若

鈴木ゆき子（東京都）

鈴木木香子
鈴木木地
茂木章
酒井大郎
大藤正一
後喜一郎
宮内正典

十、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

柳生 耕一（愛知県）

柳野村生 耕一
川崎元明 徳一
吉元 哲
西川裕 之
岩本 省吾

十一、無雙神傳英信流拔刀兵法（林崎甚助重信）

森本邦生（広島県）

森本邦生
内住信之
林元大 介
堂元 慎
松田 淳至

十二、夢想神伝居合重信流詰合（林崎甚助重信）

津村 恵治（埼玉県）

津安村 恵治
関生 和之
安生 展秀

十三、天道流薙刀術（齋藤判官伝鬼房）

木村 恭子（東京都）

木村 幸子
廣瀬 美津江
吉富 美江
貴島 美子
アレック・ベネット
ブライアン・ピーターソン

十四、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

十五、無想神傳流拔刀術（林崎甚助重信）

十六、柳生制剛流拔刀（永早長左衛門信正）

飯
篠
快
貞
（千葉県）

京
荒
櫻
近
増
野
井
藤
重
祥
俊
智
利
也
司
紀

小
川
武
（東京都）

小
萩
掛
吉
川
崎
川
成
昭
彦
武

柳
生
耕
一
（愛知県）

柳
紀
永
林
生
崎
井
田
耕
一
剛
彰
子

橋 殿

一、鞍馬流劍術 (大野 将監)

二、神夢想林崎流居合術 (北條甚助林崎平重信)

三、神道夢想流杖術 (夢想權之助勝吉)

柴 柴 柴 柴
田 田 田 田
章 章 章 章
雄 雄 雄 雄
柴 柴 柴 柴
田 田 田 田
章 章 章 章
雄 雄 雄 雄
柴 柴 柴 柴
田 田 田 田
章 章 章 章
雄 雄 雄 雄
柴 柴 柴 柴
田 田 田 田
章 章 章 章
雄 雄 雄 雄
柴 柴 柴 柴
田 田 田 田
章 章 章 章
雄 雄 雄 雄

鈴 鈴 鈴 鈴
木 木 木 木
ゆ き 子
正 大 真 ゆ
理 理 理 香
一 章 典 地 香
宮 酒 後 茂 鈴 鈴
内 井 藤 木 木 木

濱 濱 濱 濱
地 地 地 地
光 光 光 光
男 男 男 男
一 司 一 一
一 一 一 一
裕 純 裕 純
一 司 一 一

四、澁川一流柔術（首藤藏之進滿時）

森本邦生（広島県）

松堂林内住本
田元信邦
淳慎大信邦
至介介之生

五、直心影流薙刀術（山田平左衛門藤原光徳）

荻原晴子（兵庫県）

福島谷赤崎
崎田口崎
貴典克しげ子
子子美子

六、双水執流小具足腰之廻組討（二神半之助正聴）

宇佐美裕司（埼玉県）

矢舍馬宇
利利佐美
部弗場美
真秀真裕
弘雄二郎司

七、神道無念流剣術（福井兵右衛門嘉平）

小川武（東京都）

掛山土齊小
川谷屋藤川
成怜正政
彦子則文武

八、関口新心流柔術（関口弥六右衛門氏心）

関口山 中 芳夫（和歌山県）

九、竹内流捕手腰廻（竹内中務大輔久盛）

竹内 藤十郎（岡山県）

十、心形刀流武芸形（伊庭是水軒秀明）

小林 尚 大 強（三重県）

十一、無双直伝英信流居合兵法（林崎甚助重信）

石本 一平（兵庫県）

関福大関山 口岡木口中 一雅貴正 之心已裕郎 聡

竹竹竹竹 内内内内 藤十郎 智勢秀藤 隆至将郎

小加小 林 野小伊振加小 仲崎東角藤林 治真大卓尚 行也輔哉大強

中石 本 恒一 夫平

十二、戸山流拔刀道（中村泰三郎）

中村朋子
（神奈川県）
阿高部野英弘夫光

十三、柳生心眼流體術（荒木又右衛門）

梶塚靖司
（栃木県）
高橋慶太
前田樹里
大和田光明

十四、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

平岡祥淑
（静岡県）
鈴木岡智貴
古澤朱未
澤澤智久

十五、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

江角和敏
（東京都）
田中慎一
田中雄太
鹿澤野幹貴

古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。

古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によって得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもって自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十二月三日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮(式年遷宮年)、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、等戦前に引続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鏡」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鏡」別冊で同じく流儀解説を紹介し、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年(昭和五十六年)に発行し、創立五十周年(昭和六十年)からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。

平成二十七年七月十九日(日)には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催。

令和二年七月五日(日)には、創立八十五周年大会を伊勢神宮にて行う予定でしたが、コロナ禍の為中止。今後も古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



日本古武道振興会

事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-12 柴田章雄

ホームページ <http://kobushin.jp/>
メール kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp